

**製品名: OPA1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03939**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:112 kDa;Observed MW: 80 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OPA1
別名	Large GTP binding protein; largeG; MGM1; Mitochondrial dynamin like GTPase; NPG; NTG; OAK; OPA 1
遺伝子 ID	4976
SwissProt ID	O60313
免疫原	ヒト OPA1 の合成ペプチド

**背景**

ミトコンドリア融合とアポトーシスの制御に必要なダイナミン関連 GTPase。ミトコンドリアクリステに貯蔵されたタンパク質の拡散障壁を形成する可能性がある。内因性アポトーシスシグナルにตอบสนองしたタンパク質分解プロセッシングにより、OPA1 オリゴマーが分解され、カスパーゼ活性化因子シトクロム C (CYCS) がミトコンドリア膜間腔へ放出される可能性がある。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ

OPA1 抗体を使用した HeLa、A431 溶解物中の OPA1 のウェスタン ブロット分析。

